

2027年度 瀬戸内海地域振興助成 公募プログラムのご案内

文化活動で、瀬戸内を元気にする活動を応援します。

応募受付期間：2026年9月1日(火)～30日(水)

ごあいさつ

地域とは、放っておけば静かに衰退するものです。

しかし同時に、誰かが本気で関わり続けられれば、驚くほどの力を発揮するものでもあります。私がベネッセアートサイト直島で日々向き合っているのは、まさにこの問いです。

直島・豊島・犬島で積み重ねてきた実践の本質、文化・芸術を軸に据え土地の力を引き出すことを守りながら、同時にその先へ踏み出す。瀬戸内の海や風土、そこに暮らす人々との関わりをさらに深め、アートや建築を中心とした芸術文化の可能性を拡げていく。それが私たちの現在地です。

こうした思いのもと、昨年度は直島新美術館の開館と瀬戸内国際芸術祭の開催という大きな節目を迎え、多くの皆様に瀬戸内へお越しいただきました。

直島新美術館はアートと地域社会の接続をこれまで以上に強く意識して構想したものであり、瀬戸内国際芸術祭では各地域の歴史や文化に根ざし、個性を尊重しながら、地域住民・アーティスト、そして訪れるゲストとのあいだに数多くの新たな出会いが生まれました。

私たちは自ら地域の中に立ち、住民とともに美術館を運営し、行政と協働して芸術祭を動かすプレイヤーです。その手触りがあるからこそ、助成という行為にも確かなリアリティを持って臨むことができると信じています。

当財団の助成事業は、活力あふれる個性豊かな地域社会の実現と発展に寄与することを目指しています。日本各地で、多彩な手法で地域づくりに取り組まれている皆様と手を取り合いながら、それぞれの地域が抱える課題に向き合っていきたいと思います。

地域が抱える課題も、そこから生まれる創造性も、一つとして同じものではありません。

時代の流れとともに形を変えていく地域活動やコミュニティの在り方をしっかりと捉えながら、地域づくりについて絶えず考え続けていくことが重要であると考えております。

その変化を恐れず、むしろ原動力に変えていく知恵と胆力を持った方々と出会えることを、心より楽しみにしています。

2026 年 6 月吉日



公益財団法人 福武財団
理事長

福武 策明

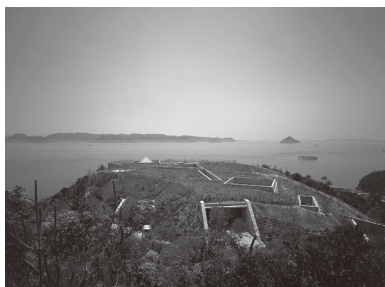
1 公益財団法人 福武財団について

公益財団法人 福武財団は、2004 年に、地中美術館開館を機に設立された「直島福武美術館財団」を前身としています。2012 年 10 月、基本理念を同じくしながら、それまで独自に活動が続けてきた「福武学術文化振興財団」と「文化・芸術による福武地域振興財団」を吸収合併し、新たに「公益財団法人 福武財団」を設立しました。

福武財団は、日本の近代化の流れの中で行われてきた破壊と創造の繰り返しを見直し、「在るものを活かし、無いものを創る」を信条に、人々がよりよく生きる地域をつくること、お年寄りの笑顔が素晴らしい地域をつくることを目指し活動しています。そのために、以下の 3 つの事業を推進しています。そして、ここでの実践を日本全国、さらには世界に発信し続け、変革への志を持つ人々と共有し、個性と魅力にあふれた地域作りに貢献していきたいと考えています。

1. 美術館事業

美術館活動による地域の活性化



地中美術館（香川県直島）

写真：藤塚光政

2. 助成事業

アートによる地域振興助成および
瀬戸内海地域振興助成



2016・2017年度 文化と芸術による地域振興の助成
成果発表会（2018年実施/新潟県十日町市）

3. 自主・共催事業

文化・芸術を振興する国内外の交流事業
（芸術祭の共催、シンポジウムの開催等自主事業）



瀬戸内国際芸術祭

写真：宮脇慎太郎

2 福武財団の助成事業について

助成事業では、「地域振興」という共通の目的の下、地域に向き合い、その土地固有の魅力を見出し、地域住民と地域に関わる人々と協働した活動を行う団体・個人を支援します。

活動においては、社会情勢の移り変わりやコミュニティの在り方の変化を捉え、その地域らしい未来を描くことで、様々な表現や手法が考えられます。これまでの通例にとらわれず、創造的で文化的な表現・活動を期待しています。

また、当財団の助成事業では、たとえ採択に至らない場合でも、実りのある機会を創出できるよう、選考過程も重要視しております。応募書類は活動内容を改めて客観視していただけるよう、記入項目が多い設計となっています。

採択後は、各助成対象者が掲げた事業活動の目標を達成いただけるよう、また、継続的に活動し、地域へ貢献していただけるよう、様々な支援プログラムにご参加いただけます。助成を受けている年度でなくても、過去の助成対象者として、他の助成対象者や当財団と知見やネットワークを共有し、相互協力関係を築くことが可能です。各助成対象者のご活動が、当助成事業の目的にある、活力のあふれる個性豊かな地域社会の実現につながることを期待しております。

3 2027年度 瀬戸内海地域振興助成 募集要項

助成趣旨

瀬戸内海地域の文化的活動を支援し、地域の魅力を育てることで、「訪れてよし、働いてよし、住んでよし」の地域づくりにつながる取り組みに助成します。農・海産物や食、宿泊・観光、歴史・民俗・伝統、自然環境・景観など、地域の特性を活かした活動を幅広く対象とします。

本助成では、挑戦的な試みや独自の視点も尊重し、地域に根差した着実な取り組みと新たな可能性に向けた挑戦の双方の支援を行います。

地域の特性を踏まえ、人々との関わりの中で継続的に取り組まれる活動が、やがて地域に変化や広がりを生み出していくことを期待しています。

募集概要

対 象 事 業 / 瀬戸内海地域の文化力向上に資する活動。(文化を軸に地域間交流を行う活動も含む)

※個人的な調査・研究に対する助成は行っておりません。

応 募 資 格 / ・非営利法人等が行う非営利事業を原則とする。

※株式会社などの営利法人や個人が行う事業のうち、当助成の主旨と親和性の高い活動であると判断された場合、対象とします。

・当財団からの助成回数が5回に満たない事業である。

※本助成は、事業の立ち上げから自立的な展開に至るまでの一定期間を重点的に支援することを主眼としています。そのため、助成回数は通算5回を上限とします。それを超える場合は応募できません。

応 募 区 分 / A. 初回申請 / これまでに当助成に採択されたことのない事業の申請枠です。

B. リピート申請 / これまでに当助成に採択されたことのある事業の申請枠です。

助 成 総 額 / 700万円

総 助 成 件 数 / 10～15件の予定

助成金額のめやす / 1件あたり上限100万円まで

※上記をめやすに、事業規模に応じて必要な助成希望額でご応募ください。

助 成 期 間 / 単年度(2027年4月1日～2028年3月31日)

応募方法

応募はウェブフォームを使って行います。電子メール、郵送、FAXでは受け付けておりませんのでご注意ください。応募方法について不明の点がありましたら、当財団までお問い合わせください。

応募手順／	1	メールアドレスの登録	当財団のウェブサイトアクセスし、手順に従ってメールアドレスを登録してください。 ※メールアドレスのご留意が必須となります。
	2	申請書類の作成	登録完了メールに記載のURLよりアクセスすると、申請書類作成フォームが表示されます。フォームに沿って必要事項を入力し、申請書類を作成してください。申請書類は作成の途中で一時保存が可能です。
	3	申請書類の確認	作成いただいた応募書類はPDFにしてダウンロードすることが可能です。提出前にPDFにて再度ご確認の上、記入内容にミスがないことを確認してください。
	4	申請書類の提出	申請書類が完成したら、応募期間内に「提出」ボタンを押し、提出してください。一度提出されますと、申請書類の変更はできませんので、提出前に必ず内容をご確認ください。 ※提出完了メールに申請書類の控えが添付されます。

受付期間／ 2026 年 9 月 1 日（火）～ 30 日（水） 23 時 59 分

- 注意事項／
- ・ 電子メール、郵送、ご来所、FAXによる応募は受け付けておりません。
 - ・ 不明点がありましたら当財団までご連絡ください。
 - ・ 応募締切(2026年9月30日(水)23時59分)の直前は、回線が混雑し送信できない可能性がありますので、時間に余裕を持ってご応募ください。締切直前の回線トラブル等の理由による特別受付はいたしかねます。

[個人情報の取り扱いについて]

申請書類に記載いただいた氏名、年代、所属機関名、部署・学部、役職、住所・連絡先、電子メールアドレス、事業協力者、プロジェクトメンバーの氏名、年代などに関しては「個人情報保護に関する法律」に則り、個人情報として厳正に管理し、下記の目的に限り利用します。

- 1) 応募に対する選考及び選考結果の通知
- 2) 助成決定後の諸手続きの連絡
- 3) ウェブサイト、広報パンフレットなどでの助成対象者決定の公表（氏名、所属機関、職名、活動などの概要、助成金額）
- 4) 当財団内管理業務（成果報告、会計報告提出に関連する連絡業務など）
- 5) 当財団主催事業の案内

選考プロセス

申請の枠ごとに、当財団、助成事業の選考委員会において厳正に選考し、当財団の理事会での承認を得て決定します。

	A. 初回申請	B. リピート申請
選 考 方 法	1次選考：書類選考（申請書） ・1次選考通過者には、12月下旬に通知します。 2次選考：選考委員との対面での選考 （令和9年1月9日岡山県内にて実施予定） ・日時、場所等の詳細は1次選考通過者にお知らせします。 ・選考会場までの交通費（実費）は当財団が負担します。 ・2次選考を欠席した場合は、助成を受けることができません。	書類選考 書類選考（申請書、過去提出の成果報告書など）にて選考を行います。 前回の採択から年数が経っている場合や、追加で確認したい事項がある場合などには、面談を実施することがあります。
選 考 結 果 通 知	1次選考結果： 2026年12月中旬(申請者全員) 2次選考結果： 2027年1月下旬(2次選考を受けた全員)	2027年1月下旬(申請者全員)

選考観点

1. 当事業の助成対象と応募資格を満たしているかを確認します

(事業概要の「助成対象」と応募についての「応募資格」を参照)。

2. 1. の要件を満たしていると認められたものの中から、以下の選考の観点に基づき、選考します。

A.初回申請
地域への影響：申請内容が地域にどのような影響・変化をもたらそうとしているか。 地域との関係：地域の人と協力関係を築いているか。 独創性：申請内容において、課題の捉え方や解決に向けた工夫に新たな視点や独自の発想が見られるか。 実現可能性：一定の具体性と根拠に基づき、申請内容の実現に向けた道筋が描かれているか。 継続性、発展性：今後活動が継続し、充実していく可能性を持っているか。 ※上記の観点のいずれかにおいて突出性が認められる試みは、萌芽的な価値を評価し、減額の上で採択することがあります。
B.リピート申請
上記A. 初回申請の観点に加え、 新たな展開：申請内容がこれまでの積み上げの上であり、活動の発展・充実につながるものであるか。

助成決定後の流れとお願い

助成金の交付／ 採択内定となった個人・団体には助成金交付に必要な書類をお送りいたしますので、期日までに提出ください。2027年3月の当財団理事会承認後、正式な採否をメールで通知し、3月末日までに助成金を指定口座に振り込みます。

助成決定者の義務／ ■活動成果の報告

助成期間終了後、成果報告書と会計報告書を提出してください。

■成果報告会への参加

当財団では、助成を受けた個人・団体を対象に、相互交流や活動ノウハウの共有を目的とした成果報告会を開催しています。2027年度に開催する成果報告会への参加は任意です。2028年度に開催する成果報告会への参加は必須となります。

■当財団の助成による事業の広報（チラシ、パンフレット、WEBなど）や活動記録には必ず当財団の助成を受けていることを明記してください。

全体のスケジュール

2026年	○ 7月上旬	募集要項の公表
	○ 7月上旬～9月29日	募集に関するお問い合わせ期間
	○ 9月1日～9月30日	申請受付期間 ※9月30日締切
	○ 11月中旬	1次選考（書類選考）
	○ 12月中旬	1次選考結果通知 ※初回申請者のみ
2027年	○ 1月中旬	2次選考（選考委員との対面での選考）
	○ 1月下旬	2次選考結果通知（助成対象者内定通知）、諸手続き
	○ 3月上旬	当財団理事会にて助成対象者の承認
	○ 3月下旬	助成金のお支払い
	○ 4月1日～2028年3月31日	2027年度活動実施期間
2028年	○ 夏～秋頃	2026年度成果報告会 ※任意参加
	○ 5月中旬	成果報告書・会計報告書提出
	○ 夏～秋頃	2027年度成果報告会 ※必須参加

応募方法、よくある質問

応募方法やよくある質問については、ウェブサイトに掲載しております。
ウェブサイトをご確認いただき、ご応募いただけますようお願いいたします。



詳しくは

<https://fukutake-foundation.jp/subsidy/>

福武財団 助成



検索

公益財団法人 福武財団

福武財団は、「Benesse (＝よく生きる)」という理念のもと、直島・豊島・犬島を中心とした美術館事業、日本各地における文化・芸術による地域振興活動への助成事業、瀬戸内国際芸術祭などの支援を行う自主・共催事業を展開しています。文化、芸術によって、活力にあふれた、個性豊かな地域社会の発展に貢献します。

お問い合わせ

公益財団法人 福武財団 助成事業部

〒761-3110 香川県香川郡直島町2249-7 Tel: 087-892-2550

E-mail: mail@fukutake-grant.jp

※お問合せの際は件名に「助成問い合わせ」とお書きください。